

活動の内省と目的設定#8

名前：ヘザー・オコネル 学校名：キング小学校 グループ名：キングズ
活動日：2016年11月09日（水） 活動時間：30分

今回、レッスンは教室で行われて、トピックは顔の部分でした。2回目のミニレッスンなので、前のミニレッスンの続きになりました。レッスンの前に、黒板に顔の絵を描いて、日本語と英語で顔の部分の言葉も書きました。線で顔の部分の絵と関する言葉をつなぎました。レッスンの始まりに、まず先週学んだ体の部分を復習しました。次に、顔の部分の言葉を1つ1つ教えました。後で、顔のアウトラインを残すように顔の部分を消して、福笑いというゲームの仕方を示しました。ゲームをするために「上、下、右、左」の言葉も教えました。そして、子供達はペアで福笑いをしました。机の上に顔のアウトラインのプリントが置いてあって、顔の部分が小さいプリントに印刷されました。子供達は顔と顔の部分のプリントを使って、ゲームをしました。残念ながら、時間がすぐになくなったので、皆がゲームを終われませんでした。

うまくいったことはゲームをする時、私が遅刻した子供のペアに入って、一緒にゲームをしました。子供達は先生に「上、上、右、いや左！」等の指示を出すのが好きでした。私が指示された時に、子供達は変な顔を私に作らせました。目と耳の場所を代わりました。子供達と一緒にゲームをするのは「Multicultural Community Building/Civic Engagement」というアウトカムにつながると思います。なぜなら、直に子供と遊ぶことで、私が子供に注目できて、子供が認められる気持ちを感じるはずだからです。

今回、問題は子供達はすぐ気が散りました。先週と同じく、ミニレッスンは子供として面白くないはずです。子供達が気が散らないために、私はもっと面白いレッスンをしたいです。次回のミニレッスンではもっと体を動かすアクティビティーをしたいと思います。